

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	アリエ独自の理念がある。また目標という形で地域密着、地域貢献への理念を掲げている。全体会での唱和や職員面接で意識づけを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園の運動会、グループ内行事(夏祭り、踊り慰問)に参加している。施設の裏に保育園の畑があり、園児達と交流する機会がある。介護支援ボランティアとの交流も大切にしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症サポーター講座のキャラバンメイトとして、地域に向けて活動している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域の方々、ご家族様から貴重な意見を頂き、参考にしている。事故について意見を頂く事もあり、会議等で再度検討し、向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役場に出向いた時に会話をし、サービスの質の内容について話をしている。特記事項があった場合はその都度報告している。また、運営推進会議も有効に活用している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年3月に身体拘束を含む全職員を対象とした研修が実施される予定である。詰所内に身体拘束廃止に関する掲示を行い、意識づけに努めている。事故対策等でもご利用者様の気持ちを第一に考え拘束が起きないケアに努めている。毎月、身体拘束に繋がる行為が無かったか、アンケートを取り上司に報告を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年3月に権利擁護の研修が実施される。(全職員対象)敬う気持ちを持つ事を日々心掛け、日常から申し合わせている。毎月、会議で利用者との関わりを振り返る機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	頂いた資料などをファイルに綴じ、職員が閲覧できるよう設置している。毎年、権利擁護の研修が実施されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明を行っている。その上で質問があった際などはしっかりと答えられるようにしている。解約・改正の際はその都度説明するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等についてはしっかりと受け止め、フローチャートに沿って処理している。また、運営推進会議や家族会でも質疑応答を行い、定期面談を行い、個別に意見を収集している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や定期的な面談、日常の会話で情報交換をしている。その意見はリーダー会で上司に報告している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課表を作成し、職員が向上心を持って働けるよう取り組んでいる。平成27年度から個人の目標発表を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年内研修予定表を基に、様々な研修や内部(グループ)の研修に参加できるように計画されている。グループホーム協議会の研修など外部の研修にも参加している。介護福祉士取得に関しては事業所の補助金制度あり。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の協議会や主催する研修などを通じて意見交換をする機会を作っている。(いずみ川薩グループホーム協議会入会)(日本グループホーム協議会鹿児島支部入会)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>以前の担当者から情報収集を行っている。現場職員も立ち会い、入居前にご自宅への訪問をしたり、入居前の面談も行っている。顔見知りになり、安心いただけるように努めている。また、入居時には歓迎会を開いている。普段から傾聴に心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にご自宅・他施設への訪問をしたり、入居前の面談を行っている。お会いできない時は電話等でご家族様、ご本人様の意見をお聞きしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>身体状況は変化が出て来ることを契約時にご説明し、現在のサービス以外も紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>調理の仕方(味付けなど)を教えて頂きながら一緒に作業したり、昔の遊びや知恵、歌や踊りなどを教えて頂いている。家庭菜園・季節の花植えも一緒に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様への定期的な連絡をしている。病院受診をお願いしたり、昔のご様子などをお聞きして職員と今後の生活に反映できないか検討している。また、イベント行事、家族会へ参加連絡を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様にご相談し、お友達をアリエにお連れ頂くなどしている。自宅周辺へのドライブ、お墓参りの際に近隣の方と交流する事もある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員レクリエーションや行事を行い、交流の機会を増やしている。トラブルが発生したら、原因や状況を把握し、職員が双方のお話を聞く。解消に努め、他ご利用者様に影響しないよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院された方にはお見舞いしたり、他施設へご入所された方には面会に行くなどしている。また通りかかった時に話をするなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃のコミュニケーションからご本人様の希望や意向等を拾い上げるようにしている。家族からの要望、意見の聴取も行っている。記録は色を変えるなどして拾い上げやすくしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前にご本人様、ご家族様にお尋ねしている。また、ご入居後も日頃の会話から生活歴などをお伺いしている。ご入居前のケアマネからも情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	看護介護記録、健康管理チェック表に目を通すなどして情報把握に努めている。また重要事項は社内パソコンを利用するなどして情報を共有している。(サイボウズ)		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃のご利用者様の思いや情報を踏まえた上で、職員同士で情報交換をしたり、チーム会議や全体会で話合っている。ご家族様のご面会時に伺ったり、訪問診療や外来受診等を利用して、医師・訪問看護師と連携している。毎月、ケア会議を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>特記事項は念入りに個別記録の作成を行い、申し送り等を利用し職員間の情報共有に努めている。また特変があった時は緊急カンファを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人様からご自宅等、外出の希望がある際は、ご家族様と連携を図り対応するようにしている。病院受診に関してはご家族様で対応できない時はホーム職員で対応を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議を通してのふれあい。介護ボランティアの方にもお越しいただいている。町内の体操教室に行く事がありそこで顔なじみの方と触れ合う事もある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診療を受診している。緊急時はグループ内の病院へ相談し、病院受診を行っている。ご家族様にはその都度、連絡を行い疑問がある際には直接医師から説明をするなど対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師による週1回の体調チェックがあり、相談をしている。病院受診や夜間帯などでは病院看護師にも相談する。身体状況の定期報告もしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時にはご本人様の情報共有を行っている。入院時にはご本人様の様子を直接見に行ったり、病院のソーシャルワーカーと連絡を取り、連携を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の話を契約時より行っている。看取りの指針を活用している。疼痛や苦痛を少しでも和らげるため、家族にも面会などを依頼し、精神面等で支えられるよう努めている。状況変化に応じて定期面談の機会を設けている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成している。連絡網の訓練を実施。急変の場合に備え、先輩職員が職員へ指導している。緊急の場合を想定し、他施設・社宅入居者からの協力が頂ける。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防者員立ち会いのもと年2回の避難訓練を実施。連絡網の訓練で強化している。出勤前には災害時のトレーニングを行い災害に備えている。さつま町社会福祉協議会防災対策協議会に年1回参加し、さつま町の福祉施設と意見交換し合ったり、他施設の訓練の見学を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人様のプライドやプライバシーを尊重し、一人一人を敬った声掛け、その場に合った声掛けを行っている。日頃のケアの中では先輩職員が指導を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣類を自分で選べるようにタンスに名前を書いて分かりやすいように工夫している。食材や本を見ながら職員と一緒に献立を決めたり、買い物に行き好きな物を買うなどの支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の生活のリズムになるべく合わせた対応をしている。ご本人様の訴えに沿い(表情や行動、態度から)支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に爪切り、耳掃除、髭剃りを行っている。外出時や必要時に化粧をしている。日頃からご本人様に洋服を選んで頂いている。2か月～3か月に1回の頻度で、美容師にきてもらい散髪をして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切、盛り付けを職員と一緒にさせて頂いている。食後のお皿拭きを手伝って頂いている。お誕生日会の時は、ご本人の好物の料理を提供している。介助の方も出来るだけ自力摂取ができるように見守りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節感のある、また栄養のバランスを考慮して献立を考えている。水分量や食事量のチェックを実施。必要時に栄養士にアドバイスをもらっている。トロミ食やミキサー食など個別の対応も行っている。関連施設の栄養課の管理栄養士による勉強会も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施。ご本人様の出来る部分を活かし、必要時に職員が介助を行っている。口腔の状態に合わせてグループ内の歯科を受診している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居時1週間は排泄パターン表を使用している。ご利用者様の変化に合わせて、排泄パターン表を活用し、オムツの使用数を減らす事や、ご本人様の不快にならないよう検討実施している。必要に応じてポータブルトイレの使用。介護計画書の内容に個別に記載している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を毎日チェックしている。排便が見られない時は身体を動かしたり、食事内容の工夫、腹部マッサージを実施している。長く排便が見られない時は医師や訪問看護師に報告、相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1日の基本的な流れはあるが、ご希望をお尋ねしながら入浴・清拭、足浴等して頂けるようにしている。温泉の素や人形を使用して気持ちが安らぐようなひと時になるよう工夫している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも利用者の希望に合わせて休む時間を作っている。夜間、不安になられて休めない方がいる時は飲み物をお出しするなどしてゆっくりと話せる環境づくりを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示通りの服薬の支援を行っており訪問看護師とも連携している。緩下剤や処置については一覧表を設置している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯、片付け等の役割作りをしている。歌や踊りを楽しめる環境づくり。太鼓や将棋など個々の趣味を楽しむ環境づくりを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様と協力し、定期的にお墓参りに行けるよう支援している。ご家族様が遠方でいらっしゃる時は職員が行う事もある。ご本人様の希望に応じて買い物や自宅へお連れすることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人様自身が少額を所持している方もいる。お小遣い管理を行い、ご本人様の希望時や外出支援の際に買い物が出来る環境を作っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話のご希望時、職員が取り次いでお話をしている。遠方のご家族様には、職員よりご本人にお電話をおねがいしたり、お手紙をお願いしたりして取次ぎを行っている。ご本人の様子をアリエ便りや受け持ちからお手紙でお知らせしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日、掃除を行い整理整頓を心掛けている。季節感を味わえる様に装飾を行っている。装飾作りにはご利用者様にも参加頂き季節感など感じて頂けるようにしている。トイレや居室に芳香剤を使用し匂いの対策をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>その日、その時のご本人様の希望に応じ、ソファや廊下などくつろげるように支援している。馴染みのご利用者様同士が過ごせる空間作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前、入居時にご本人様、ご家族様と相談し太鼓やタンスなどご自宅で大事にされている物を持ちこみ頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内は要所部分に手すりを付け、ご利用様が歩行しやすいように環境整備している。ベッド・家具はご本人様に合わせた配置を行っている。トイレが分かりやすいように案内板を設置している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない